戦争の現実を知る
平和を考える

■ 戦争と平和の学習を深める

9章「第二次世界大戦の時代」に 15 テーマをあてました。体験者の証言や人びとの姿から戦争の現実を知り、平和について考えを深められるようにしました。

アンネ＝フランクとオードリー＝ヘプバーンは、過酷な占領・戦争の下で、社会を問い続けました。

激しい地上戦が繰り広げられた沖縄。降伏が認められない中、多くの人が死亡しました。

加藤義典(17歳)は、原爆投下後の広島で子どもを助けられなかったことを悔やみ続けました。